

物理学委員会 物理教育研究分科会（第25期・第4回）

議事要旨

日時 令和4年8月31日（水）10：00～12：00

会場 オンライン（zoom）会議

出席者： 岡委員（委員長）、笹尾委員（副委員長）、関口委員、新永委員、千葉委員（幹事）、中山委員、松尾委員、覧具委員（特任連携会員）、笠委員（幹事）、和田委員、渡部委員、横山委員、駒宮委員

欠席者： 板倉委員、市川委員

資料1：第3回物理教育研究分科会議事要旨

資料2：20220808 A P S ニュース記事紹介（覧具委員より）

机上配布資料：「物理教育におけるジェンダーギャップの現状と対策」に関するシンポジウム開催提案（たたき台）

参考資料：「科学技術イノベーション創出と大学教育改革のための緊急アピール～大学ファンド等による資金投入を研究力強化につなげるための提言～」

議 題

（1） 前回議事録確認（資料1）

岡委員長より、令和3年10月15日開催の第3回物理教育研究分科会議事録（案）を諮り、これを了承した。

（2）「物理教育におけるジェンダーギャップの現状と対策」に関するシンポジウム開催提案（机上配布）

・岡委員長より、机上配布の「物理教育におけるジェンダーギャップの現状と対策」に関するシンポジウム開催の提案に基づいて、令和5年1月11日に日本学術会議講堂で開催されるシンポジウム案の説明が行われた。その後、シンポジウム開催の了承があり、その具体的な内容について意見交換が行われた。特に、タイトルと開催趣旨の内容の確認、登壇講師の選出（特に中高等学校での取り組みを紹介できる講師、教育のequityに関する取り組みを紹介できる講師など）、シンポジウムでの議論内容、パネル討論での学生・研究員選出などについての意見交換が行われた。その上

で、岡委員長からシンポジウムのさらに詳しい内容については幹事の間で議論するという提案があり了承された。

(3) その他（報告事項）

・APSニュース記事紹介（資料2）

覧具特任連携会員より、資料2に基づいて「物理教育における公正さ（equity）の確保のあり方について」の報告があった。特に、ドネル・ウォルトン氏とカール・ワイマン氏の記事「物理学の“才能”に注目するとき、私たちが見落としているもの」に関する詳細な分析が報告された。その後、教育のequity等に関する意見交換が行われた。

・「科学技術イノベーション創出と大学教育改革のための緊急アピール
～大学ファンド等による資金投入を研究力強化につなげるための提言～」(参考資料)

笹尾委員より、上記参考資料の紹介が行われた。その後、大学ファンド等の中での大学教育の在り方、学生・若手教員へのサポートの在り方などの意見交換が行われた。

以上